

「クリーン・ビーチいしかわ」に参加

～渚はわたしたちの宝物。～

日本損害保険協会北陸支部(委員長:南波 靖一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員北陸本部長)では、5月25日(土)に開催された石川県内の海岸清掃運動「クリーン・ビーチいしかわ」に参加しました。

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響により、清掃活動が中止になった地域もある中で、当支部が担当した白山市の松任海浜公園では、損保協会会員会社および石川県損害保険代理業協会(会長:田端 悟氏)から、参加団体の中で最多となる170名の参加がありました。

当日は天気にも恵まれたこともあり清掃活動は順調に進み、目につきにくかった多数のペットボトルやプラスチック片・発泡スチロール・空き缶などを次々に回収し、海岸は見違えるほどきれいになりました。

能登半島地震の被害が大きかった輪島市や珠洲市などでは、依然、不自由な生活をされている方が多数いらっしゃいます。

当支部では今後とも会員会社や関係団体とも連携し、地域貢献活動を行ってまいります。

「クリーン・ビーチいしかわ」

1995年から身近な環境ボランティアとして開催され、2023年度までに累計266万人が参加する全国でも有数の環境ボランティア活動



(活動の様子①)



(活動の様子②)



(集められた大量のごみ)